

第22回災害廃棄物対策四国ブロック協議会 議事録

日 時：令和6年7月31日（水）13時30分～15時30分

場 所：高知商工会館 松竹梅の間
オンライン会議システム併用

議 事：

- (1) 令和6年度協議会の運営について
 - ① 協議会設置規程について
 - ② 協議会及び幹事会について
- (2) 令和6年度の協議会調査検討事項（案）について

報告事項：

令和5年度の環境省の取組

1 開会

2 あいさつ

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所 大林所長より開会のあいさつが行われた。

3 議事

(座長)

議事「(1) 令和6年度協議会の運営について」、事務局より説明をお願いする。

(1) 令和6年度協議会の運営について

議事「(1) 令和6年度協議会の運営について」

事務局 環境省より資料1、資料2の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局)

(資料1、資料2の説明・省略)

(座長)

資料1、資料2について、ご質問等募る。

(高知県産業廃棄物協会)

資料2のスケジュールについて、仮置場設置運営訓練の対象は「構成員」だけか。仮置場設置は現場との連携によって行うため、構成員以外の自治体（市町村）の参加をお願いした方がよいのではないか。

(事務局 環境省)

「構成員」は記載間違い。昨年度同様、構成員以外の自治体職員、関係団体へも、幅広く参加へのお声がけをさせていただく。資料は修正する。

(座長)

資料1の規程を改訂し、資料2の修正点を確認した上で、次の議事へ。

「(2) 令和6年度の協議会調査検討事項（案）について」、事務局より説明をお願いします。

(2) 令和6年度の協議会調査検討事項（案）について

議事「(2) 令和6年度の協議会調査検討事項（案）について」

事務局 MURC より資料3の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料3説明・省略)

(座長)

「第1 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討」について、ご意見募る。

(委員)

参考意見として、支援側の問題点の調査について、能登半島地震の被災自治体に調査を実施するにあたり復興状況に配慮し、可能な範囲で対処する。

今年はまだ処理の最中で、被災自治体は調査を受け入れる状況ではない。調査対応ができるか、状況によっては調査の延期も考慮すべき。延期となった場合は、過去の被災自治体での調査事例を参考に今年度はまとめる、ということも考慮してはどうか。

(事務局 環境省)

ご指摘の通り、被災自治体への配慮が重要。可能な範囲で行う。過去の事例を参考に留意して進めたい。今後評価ができる段階で改めて進めていく。

(座長)

調査対象は、全市町村ということで、相当な数になるが。

(事務局 MURC)

環境省ルートではある程度把握できていると思うが、今回はそれ以外も把握したいと考えているため、調査対象は全市町村としたい。

(座長)

支援について、広くとらえると下水道処理なども対象になるかもしれない。調査内容は幅広くとりかかるとよいのでは。

次に、「第2 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討」についてお伺いしたい。

(副座長)

能登半島の輸送環境は限られるので、海上輸送が行われたと7月に報道されている。

過去の調査で密閉型のコンテナを使用した鉄道・船舶での輸送手順を整理してきたが、能登は特殊。可燃物の木くずをそのままばら積みする。箱車で港湾まで運び、グリップして船舶に船積みする。粉塵もあり、周辺で食品や精密機械を輸送されることもある状況では、常識的には認められない。可燃物のばら積みは、船舶火災、海洋汚染の問題も。

そのような輸送が可能となる条件、また今後別のブロックでの災害時に行う可能性があり得るのかも含め、留意して調査を実施してほしい。

(事務局 MURC)

とりまとめの際に、ご相談させていただく。

(座長)

能登を含めて、自衛隊の支援にて蓄えた知見や、困りごとなどの情報をうまく整理すれば役立つのでは。

オブザーバーの方、何かご意見いただければありがたい。

(高知県産業廃棄物協会)

海上、船舶輸送について、南海トラフが起こった場合、高知、徳島は多大な被害を受ける可能性があり、港湾は全滅のおそれ。高知県から直接船舶輸送ができない場合、陸上輸送となるため、重要となる輸送ルートの危険箇所等把握・確認をしている「194

連絡協議会」など、道路の関係先と連携ができればと思う。

(事務局 環境省)

能登半島地震では、輪島は港が隆起して全く使えなかった。

そのため(資料 P.4にあるとおり)輪島ではなく、能登町側の港を使用した。

高知県の港湾は壊滅的かもしれない。国交省でもどの港湾から啓開するか、検討が進められている。災害廃棄物の処理含め、広域輸送については広い視点で整理していきたい。

(国土交通省 四国地方整備局)

海上、鉄道が議論になっているが、道路も気になる。

仮置場から港湾までの道路の液状化、土砂崩壊などで不通となる可能性あり。輸送路の確認、道路の複数ルート検討なども考慮すべき。

(委員)

港が使えなくなった場合、仮置場はどこに設置する必要があるか、どこに集積してどのように持っていくのか、の議論が不足している。2次仮置場でリサイクルも考慮して分別し、船に乗せる。災害時には2次仮置場としてどこが使えて、どこが使えないのか、適切な場所はどこか、を検討しておくことが必要。

(事務局 環境省)

仮置場をどこに集積させていくべきか、という件について、1次は市町村、2次は県にて検討されている。情報を集約し、広域輸送と紐づけて検討するところまではできていない。

事務所にて情報収集して市町村に提供するのがよいと認識している。

仮置場の検討レベルも異なるため、情報交換をしながら、着実に進められればと思う。

(委員)

東日本大震災の時に、船を使用してごみを移動させた。港に2次仮置場を設置した事例を思い出したため、港の利用可能性を考えたかどうかと質問した。

(座長)

「第3 ブロック内での広域処理を行うための調査検討」について、P.5の表に抽出した施設数は、施設の規模で整理されている。

(高知県産業廃棄物協会)

当該資料は公共の一般廃棄物施設だが、産業廃棄物処理施設はどうか。

(座長)

民間の産業廃棄物処理施設を対象に調査・検討したい。(P.5 表の下部にその旨記載あり。)

(高知県産業廃棄物協会)

民間施設は、事業期間を設定して管理している。災害廃棄物を受け入れられる容量が限られている。一時的に売り上げは高まるが、施設が延命できない。災害廃棄物の受入れに伴う利益について国へ免税措置を働きかけている最中なので、ご協力いただけるとありがたい。

(副座長)

中間処理施設は余力がない。

処分場は、20年で採算が取れる計画。大量の災害廃棄物の処理を受入れすると、新たな処分場のオープンが難しいという問題に。それでも民間を頼らざるを得ない状況なので、官民でうまく理解しあえるよう情報交換が重要。よりよい方法を検討できればと思う。

許可施設について、能登半島地震の木くずは、セメント工場に委託している。産廃協会だけでなく、セメント業界・バイオマス業界などにも受け入れの可能性のある点を、調査の中で、視点として加えておいてほしい。

(座長)

四国では、セメント・バイオマス業界の規模は小さいかもしれない。

新規の焼却処理施設の情報も得ていただき調査範囲を検討いただきたい。

(高松市)

本市では、災害廃棄物処理の受入協定を県内他都市と締結しているが、香川地域を超えての協定締結までは想定していない。また、県内市町の広域処理は一般廃棄物だけであるが、協定締結による連携を進めている。

県東部で災害が起きた場合、広域処理を県外とするか県西部とするか、方針が定まっていない。

県内での広域連携の進め方について、他県の取組や県域を跨いでの市町間の協定締結の有無などについて、調査項目として入れて検討をしてほしい。

なお、本協議会が行う県域を越えての連携協力体制の構築と、既存の市町間の県内

協定内容の関係性について、今後整理していく必要が生じる。

(座長)

「第4 行動計画の資料編等の更新に関する調査検討」、「第5 中国四国地方における災害廃棄物処理に係る知見等の継承」について確認したい。

(委員)

第5の支援員との意見交換会について、災害対応力の向上のためにも引き続き進めてほしい。

人材バンクの支援員は、地域の災害対応にあたる人材。南海トラフ地震は全国規模になる。四国の支援員は、四国内対応となり、他へは行けない。他ブロックも同様となり、外部からの支援も難しい。

地域内の支援員の活用について、大規模災害に備え、支援体制の在り方を考えるべきではないか。南海トラフの発災を想定し、認識を協議するような意見交換を進める必要があるかもしれない。

(座長)

「第6 図上訓練の実施等」、「第7 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施等」、「第8 セミナーの実施」について

(委員)

中四国連携で、南海トラフ想定での訓練実施計画。

シナリオ想定で、四国被災、中国応援で、完結できるか。全国からの支援を受けないと四国の災害廃棄物処理はおそらく対応できないので、外部のブロック連携も想定して設定すべき。

外部支援の必要性を認識できるよう配慮いただき、訓練設計をしてほしい。

(事務局 MURC)

他ブロック支援は考慮したい。

(委員)

訓練について、連携訓練は発展形として理解。他ブロックからの支援を考える際に、これまで県と市町村間の連携に加え、県が中心になり他県・他ブロック調整が必要となってくる。何か新しい枠組みが必要になると思われる。

(座長)

図上訓練は9月。時間も迫っているので、適切に進めてほしい。

(高松市)

能登半島地震での財政面について、自治体にどれだけ負担がかかるのか、セミナーなどで情報提供をいただけるとありがたい。

(事務局 環境省)

解体マニュアルは更新されている。自治体の負担など情報提供のニーズなど配慮したい。

(座長)

多くの意見を頂戴した。意見をふまえて調査検討事項の精緻化を進めてほしい。
(議事は以上。)

4 報告事項

(事務局 MURC)

議事4 報告事項「環境省における災害廃棄物対策」について、事務局 環境省より説明をお願いします。

(事務局 環境省)

(資料4説明・省略)

(事務局 MURC)

ご質問や意見、特になし。

5 閉会

(事務局 MURC)

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

本日も発言いただきました点の他に、本協議会に関しますご意見等がございましたら、会議終了後1週間程度をめぐりに事務局までメール等にてお知らせ下さい。

第22回災害廃棄物対策中国ブロック協議会を終了。オンライン会議の方も通信を終了。

本日は長時間ありがとうございました。

以上